

【別紙様式 3】

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	国道道路改築事業		路線又は箇所名等		国道 409 号 富里拡幅		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成 11 年度	用地着手年度	平成 11 年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成 11 年度 平成 26 年度	再評価の理由		②	
費用便益比 B/C	2.1	総費用	78 億円	総便益	159 億円	基準年	平成 20 年度	供用開始 年度	平成 26 年度

【事業概要】

国道 409 号は、神奈川県川崎市から、東京湾アクアラインを經由し、成田市に至る総延長約 133km の一般国道である。県内区間の延長は、約 105km で、木更津市から茂原市、東金市を經由し、成田市で国道 51 号と接続する重要な幹線道路である。

富里拡幅は、東関東自動車道富里 IC 周辺における交通混雑緩和と沿道環境の改善等を目的として整備する延長 1.9km の 4 車線拡幅事業（都市計画決定 S54）であり、全体事業費は 73 億円を見込んでいる。

【事業の進捗状況】

	全体	未供用区間		
		区間小計	投資済	残
延長 (km)	1.9	1.9	—	—
事業費 (億円)	73.0	73.0	51.1 [70.0%]	21.9
うち用地補償費 (億円)	54.1	54.1	43.9 [81.3%]	10.2

※ [] 内は進捗率を示す

【社会経済情勢等】

- ・ 国道 409 号は、緊急輸送道路（1 次路線）に指定されている。
- ・ 用地取得にあたり、買収単価の下落などにより、地権者の理解と協力を得るのに時間を要しており、事業期間が長期化している。
- ・ 成田国際空港の取扱貨物量の増加や、平成 8 年の規制緩和（仕分け基準の廃止）による成田国際空港周辺地域への保税蔵置場の急増により、当該地域から富里 IC へのアクセス道路となる国道 409 号の交通需要も高まっている。
- ・ 国道 409 号富里拡幅計画区間の状況
 - ①日交通量（H17 ㄨㄨス：平日）は、22,000 台/日、混雑度（12h）1.28 となっている。
富里 IC 周辺は交通集中が著しく、交差点も多い（交差点密度：8.4 箇所/km）ため、平均ピーク時旅行速度（平日）が 8.0km/h と低く、朝夕を中心に富里 IC 入口などで、2.0 km 程度の渋滞が発生しており、通過に 20 分程度を要している。
 - ②富里 IC 前は、CO2 削減アクションプログラムにおいて、渋滞箇所に位置付けられている。
 - ③死傷事故は、交差点部を中心に毎年約 30 件発生しており、特に、富里 IC 周辺（17 件/4 年）での死傷事故が多くなっている。
 - ④当該区間は、通学路に指定されており、歩道は設置されているが幅員が 1.5m と狭い。
交通量が多いため、自転車が歩道を走行することもあり、歩行者と交錯するなど危険な状況である。
 - ⑤交差点での右折車のほか、沿道には大規模店舗や飲食店等の商業施設の立地が多いことから、駐車場への出入り車両により、速度低下など後続車両への影響が生じている。
- ・ 国道 409 号は、第 3 次救急医療施設（成田赤十字病院）へのアクセス道路としても利用されている。

【対応方針（案）】

継続

富里拡幅は、富里 IC 周辺の慢性的な交通渋滞を緩和し、物流活動の円滑化、沿道環境の改善及び高次救急医療施設へのアクセス向上などの効果が期待される事業である。

当該区間では、用地取得が完了している区間において、自歩道や右折車線の設置を行い、事業効果の早期発現に配慮しながら事業を推進しているが、十分な事業効果の発現には至っておらず、全区間の拡幅整備が不可欠である。

評価対象区間の用地取得率は約 8 割となっており、全線の早期完成に向けて継続して事業を推進する。

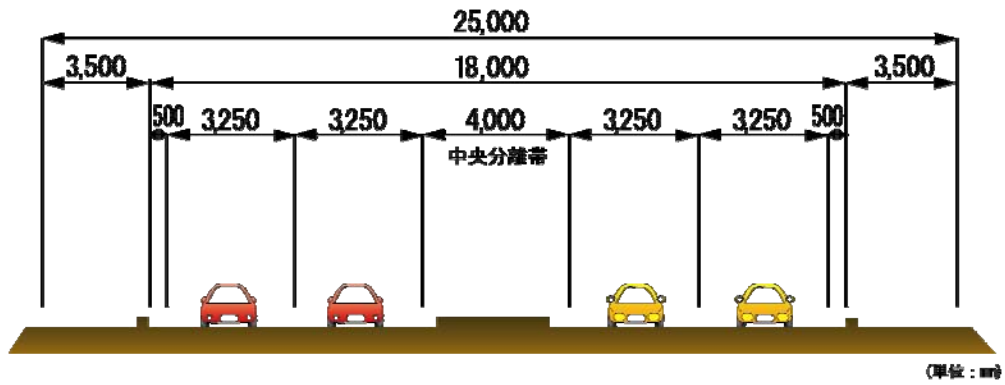
事業概要図

番号	4	事業名	国道 道路改築事業	路線又は箇所名等	国道 409 号 富里拡幅
----	---	-----	--------------	----------	------------------

位置図



標準断面図



平面図

